

脇本雄太が大会3V目に邁進

第68回オールスター競輪は、8月12日〜17日の日程で、函館競輪場においてナイターで開催される。大会名に相応しく、S班8名をはじめとして、全国各地からSS班に引けを取らない強豪、売りに出中の若手自力型が多数参戦。6日間の長丁場で熾烈なスピードバトルが繰り広げられる。真夏の頂点に立ち、優勝賞金6500万円（副賞を含む）を手にするのは、果たして誰なのか？

昨年のこの大会のチャンピオンで、ファン投票第1位に選出された古性優作は、サマーナイトの準決で落車（落乗入）。右肩鎖関節脱臼の大ケガを負い、連覇に暗雲がたちこめた。ならば今年は早くもG1で2Vを達成してい



脇本雄太

る脇本雄太が、優勝に一番近い存在とみるのが順当だろう。相変わらず持病の腰痛と付き合いながらの参戦を余儀なくされているが、全日本選抜で真ッ先にグランプリ2025の出場権をゲットすると、高松宮記念杯は無傷の5連勝で制覇。サマーナイトは病欠したが、全日本選抜、高松宮記念杯の直前場所も欠場していただけに、大きな不安材料にはなるまい。18年、22年に続いての3V目奪取に闘志を燃やす。最近では決勝で結果が出ていない寺崎浩平ながら、先行での連が

らみが多く、状態は申し分ない。ワールドクラスのスピードは相変わらずだし、末の粘りもしっかりしている。G1初Vを飾っても不思議ではない。近畿勢は南修二、村田雅一ら追い込み型もそろっている。今年はG3での成績は今ひとつの眞杉匠だが、ビッグレースでは存在感を示している。ウイナーズカップ、ダービーはいずれも準V、サマーナイトでは連覇を達成した。オールスターは、23年にタイトルホルダーの仲間入りを果たしたゲンのいい大会だし、今年はファン投票第2

位に支持されている。バンク狭しと暴れまわり、ファンの期待に応える。ダービー王・吉田拓矢は眞杉と連係実績が豊富。サマーナイトの決勝でも連独占を決めたばかりだ。関東勢では坂井洋、佐々木悠葵も動きが良く、サマーナイトは4車連係を奏功させての関東ワンツードット。ここも動向からは目が離せない。

地元北日本のエースは、ただ一人SS班を張っている新山響平だ。今年はまだVには手が届いていないものの、ウイナーズカップ、ダービーで決勝進出、6月別府記念は逃



眞杉匠

げ粘って準Vなど、随所で快速を発揮している。当所は66、69周年記念を制して、相性のいいバンクでもある。中野慎詞はナショナルチームの一員だけに、スピードはワールドクラス。サマーナイトでは②②④②着と、惜しくも決勝は外したものの、3連対と大活躍を演じた。北日本地区のビッグレースは初参戦なので、いつも以上に気合も入る。

南関東勢も戦力は整っている。郡司浩平、岩本俊介のSS班2名に、深谷知広、松谷秀幸とそろっている。中でも今年の郡司は素晴らしい成績。6月取手で記念5V目を飾ると、高松宮記念杯、サマーナイトと続けて優参。南関東勢は好調者ばかりなので、好連係を決めれば優勝をさらってもおかしくない。

動ける選手がそろった中四国勢も怖い。清水裕友、犬伏湧也、太田海也と超ド級がズバリ。太田は高松宮記念杯、サマーナイトの準決はいずれも先行して2着。そろそろ決勝でも結果を出すか。犬伏の爆発力も魅力だし、ラインを束ねる清水にもチャンスはありそう。



古性優作

古性優作は、サマーナイトの準決はいずれも先行して2着。そろそろ決勝でも結果を出すか。犬伏の爆発力も魅力だし、ラインを束ねる清水にもチャンスはありそう。

オールスター競輪 出場予定選手

※2025年08月08日現在

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	岩本俊介	千葉	94期	116.56	S1	宿口陽一	埼玉	91期	108.03	S1	山田諒	岐阜	113期	108.94
SS	脇本雄太	福井	94期	118.40	S1	和田圭	宮城	92期	113.30	S1	福永大智	大阪	113期	106.41
SS	郡司浩平	神奈川	99期	118.63	S1	三谷将太	奈良	92期	112.92	S1	嘉永泰斗	熊本	113期	111.92
SS	古性優作	大阪	100期	119.89	S1	山田久徳	京都	93期	110.65	S1	小原佑太	青森	115期	108.36
SS	清水裕友	山口	105期	116.26	S1	椎木尾拓哉	和歌山	93期	107.60	S1	高橋晋也	福島	115期	104.62
SS	新山響平	青森	107期	115.67	S1	根田空史	千葉	94期	105.84	S1	坂井洋	栃木	115期	114.68
SS	眞杉匠	栃木	113期	116.88	S1	山田庸平	佐賀	94期	112.52	S1	佐々木悠葵	群馬	115期	112.03
S1	犬伏湧也	徳島	119期	114.96	S1	小原太樹	神奈川	95期	112.78	S1	藤井侑吾	愛知	115期	109.48
S1	山口富生	岐阜	68期	108.08	S1	河端朋之	岡山	95期	109.55	S1	脇本雄太	福井	115期	103.84
S1	志智俊夫	岐阜	70期	106.16	S1	近藤保	千葉	95期	108.60	S1	伊藤嶋馬	沖縄	115期	102.40
S1	香川雄介	香川	76期	108.21	S1	川津悠輝	北海道	96期	103.93	S1	寺崎浩平	福井	117期	115.72
S1	小倉竜二	徳島	77期	112.57	S1	守澤太志	秋田	96期	112.29	S1	鈴木玄人	東京	117期	111.25
S1	佐藤慎太郎	福島	78期	110.70	S1	雨谷一樹	栃木	96期	111.31	S1	青野将大	神奈川	117期	108.04
S1	諸橋愛	新潟	79期	110.85	S1	長島大介	栃木	96期	108.13	S1	佐々木真也	神奈川	117期	107.43
S1	桑原大志	山口	80期	111.22	S1	松谷秀幸	神奈川	96期	115.62	S1	道場晃規	静岡	117期	108.18
S1	野田源一	福岡	81期	108.00	S1	深谷知広	静岡	96期	116.15	S1	山口拳矢	岐阜	117期	113.24
S1	荒井崇博	長崎	82期	114.45	S1	西村光太	三重	96期	108.76	S1	町田太我	広島	117期	106.09
S1	笠松信幸	愛知	84期	108.14	S1	久米良	徳島	96期	108.65	S1	石原颯	香川	117期	113.50
S1	竹内智彦	宮城	84期	105.08	S1	岡崎智哉	大阪	96期	108.44	S1	伊藤旭	熊本	117期	108.53
S1	大槻寛徳	宮城	85期	107.55	S1	中井太祐	奈良	97期	106.75	S1	松岡辰泰	熊本	117期	110.33
S1	東口善朋	和歌山	85期	106.47	S1	武藤龍生	埼玉	98期	114.64	S1	松本秀之介	熊本	117期	107.60
S1	中川誠一郎	熊本	85期	104.00	S1	小松崎大地	福島	99期	104.68	S1	菊池岳仁	長野	117期	110.18
S1	井上昌己	長崎	86期	109.57	S1	和田真久留	神奈川	99期	113.25	S1	吉田有希	茨城	119期	107.76
S1	和田健太郎	千葉	87期	111.56	S1	恩田淳平	群馬	100期	107.48	S1	志田龍星	岐阜	119期	109.73
S1	岩津裕介	岡山	87期	111.63	S1	窓場千加頼	京都	100期	104.75	S1	中野慎詞	岩手	121期	113.47
S1	園田匠	福岡	87期	110.34	S1	徳永哲人	熊本	100期	103.78	S1	太田海也	岡山	121期	117.45
S1	大森慶一	北海道	88期	106.86	S1	吉澤純平	茨城	101期	110.68	S1	綿瀬光翔	愛知	121期	106.30
S1	佐藤友和	岩手	88期	108.20	S1	三谷竜生	奈良	101期	111.38	S1	村田祐樹	富山	121期	108.22
S1	成田和也	福島	88期	114.96	S1	山本伸一	奈良	101期	107.24	S1	真鍋智寛	愛媛	121期	105.00
S1	山崎芳仁	福島	88期	107.42	S1	杉森輝大	茨城	103期	112.40	S1	後藤大輝	福岡	121期	108.78
S1	武田豊樹	茨城	88期	108.14	S1	石塚輪太郎	和歌山	105期	105.17	S1	東矢圭吾	熊本	121期	108.69
S1	南修二	大阪	88期	114.03	S1	阿部拓真	宮城	107期	110.47	S2	柏野智典	岡山	88期	112.19
S1	渡部幸訓	福島	89期	111.55	S1	山岸佳太	茨城	107期	107.56	S2	阿部力也	宮城	100期	114.88
S1	橋本強	愛媛	89期	111.12	S1	吉田拓矢	茨城	107期	119.77	S2	市橋司優人	福岡	103期	104.54
S1	吉本卓仁	福岡	89期	107.16	S1	隅田洋介	岡山	107期	104.22	S2	鈴木竜士	東京	107期	110.50
S1	山田英明	佐賀	89期	110.11	S1	大矢崇弘	東京	107期	102.93	S2	嶋田誠也	福岡	109期	107.00
S1	浅井康太	三重	90期	115.11	S1	取島雄吾	岡山	107期	112.15	S2	佐藤礼文	茨城	115期	111.31
S1	村田雅一	兵庫	90期	114.03	S1	小川真太郎	徳島	107期	107.95	S2	渡邊雅也	静岡	117期	104.94
S1	阿竹智史	徳島	90期	108.22	S1	高橋築	東京	109期	108.06	S2	窪木一茂	福島	119期	108.66
S1	小川勇介	福岡	90期	108.48	S1	吉田木龍	神奈川	109期	111.94	S2	西田優大	広島	123期	107.14
S1	北津留翼	福岡	90期	110.64	S1	佐々木豪	愛媛	109期	109.11	S2	中石湊	北海道	125期	108.46
S1	小岩大介	大分	90期	108.11	S1	瓜生崇智	熊本	109期	102.40	S2	山崎歩夢	福島	125期	104.33
S1	松岡貴久	熊本	90期	109.65	S1	血屋豊	三重	111期	112.69	S2	栗山和樹	岐阜	125期	105.52
S1	永澤剛	青森	91期	114.20	S1	松本貴治	愛媛	111期	116.31					
S1	菅田杏道	宮城	91期	116.50	S1	小林泰正	群馬	113期	110.10					
S1	神山拓弥	栃木	91期	109.35	S1	松井宏佑	神奈川	113期	115.13					

主力選手プロフィール

※2025年08月08日時点

賞金

競法

競法

競法

競法

競法

小山 記者



デビュー時からスーパースターとして期待を集めた中石湊が地元で初のG1出場。「推薦がなければ出場はできなかったし、経験を積められるように。9車とかの不安はあるけど、そこは先輩方に聞いて、選んでもらったからには恥じないレースをしたい」と気合は十分だ。すでに7月の立川でS級初優勝を決めるなどナショナルチームの競技だけではなく、競輪でも実績を積み重ねている。「地元なので頑張りたい」。熱い走りファンを沸かす。

昨年は推薦選手として出場した後藤大輝が今年はファン投票で出場権利を獲得。積極的なレーススタイルがファンに支持されている。7月の京王閣G3最終日は清水裕友や、新田祐大を相手に逃げ切る会心のレース。「本当に自信になりますね。清水さんだけでなく、新田さんはS班と同じような存在ですし、その人達から主導権を握って逃げ切れた。うれしいです。オールスターまでに絶対万全にして、活躍できるように」とビッグレースでの大駆けにも期待が膨らむ。

竹内 記者



昨年のオールスターが初めてのG1出場だった道場晃規は、今年は全日本選抜、日本選手権、高松宮記念杯とG1をフル出場。コンスタントに勝ち星を挙げて、高松宮記念杯では一次予選をクリアした。「去年のオールスターは浮足立っていたけど、それ以降は緊張はするけど、毎回、レベルアップはできている。あとはもっとヨコの技術とかも身につけていきたい」。高速バトルで厳しくはなるが、スピードをもらって仕掛けたい道場にとっては、G1の舞台は悪くない。好配当メイクに期待しよう。

経験を積み重ねてきた青野将大だが、23年からコンスタントに出場を果たしているG1ではまだまだ納得のいくパフォーマンスには至っていない。サマーナイトフェスティバルの一次予選では、太田海也を撃破も慎重だ。「あれは、ほぼ運です。から、(郡司)浩平さん、松井(宏佑)さん、深谷(知広)さん。そういう人たちの前で走ることを目指している。まずは自分の走りをしっかりと見せていければ」。ケレン味のなさは誰もが認めるところ。無欲で大物食いを狙う。

細川 記者



南修二は地元の岸和田で行われた高松宮記念杯で準決敗退も、最終日は単騎での戦いとなりながらシャープなまくりで白星を奪取。6月久留米決勝は目標が不在であったが10年ぶりの記念制覇を達成するなど、タテ脚の鋭さが際立っている。昨年は16勝に留まったが、今年はすでに15勝を挙げている。スピード化が進む輪界に対応しながら常に進化している。昨年の当大会は準決5着で決勝進出を逃したが、今年は決勝進出を目指して北の大地で暴れる。

今年の春先は調子を崩していた佐々木悠葵だったが、6月宇都宮で完全優勝を決めて自信を取り戻すと、グレード戦線でも今まで以上に積極的な仕掛けで存在感をアピールしている。「長い距離を踏むための練習をしている」と裏付けがあるからこそ、仕掛けに迷いが一切ない。玉野のサマーナイトフェスティバルでは決勝に進出して眞杉匠の優勝に貢献した。当所は23年にサマーナイトフェスティバルで決勝に進出している相性良い舞台で、自慢のスピードを披露する。

権田 記者

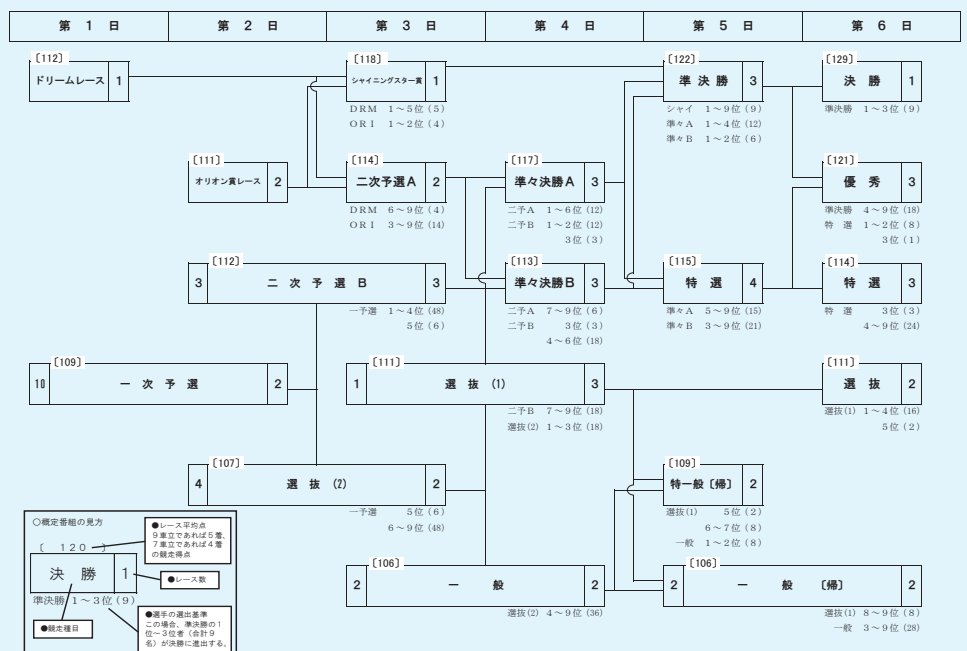


ナショナルチームとの兼ね合いで出場機会も限られ、一発勝負のヤンググランプリを除くとオールスターがようやくビッグ出場通算10回目になる中野慎詞。前回のサマーナイトフェスティバルでは惜しくも決勝進出にはつなげられなかったものの、②②④②着で手ごたえを得た。「今回は4日間、今まで(のビッグ)と違って出し切れて一番良かった。オールスターでは自信を持って走りたい」。オリオン賞スタートと有利に運べる今シリーズは、初めてのファイナルのキップをつかみたい。

10、12年にオールスターを制している父、芳仁(88期)と親子でのG1出場と山崎歩夢にとっては、いろいろな意味でスポットを浴びる今シリーズ。S級に特進を果たしたが、初場所で落車の憂き目。前回の富山記念では、初めての9車立てを経験した。「(富山では)日に日に9車立てのやり方がわかってきた。(G1の前に)1回、走らせてもらったのは大きい」。大器の片りんを見せた富山記念。ハードルは高いが、それを越えられる力は持っている。

概定コード【S08】

オールスター競輪



オールスター競輪 概定表・日程

- 1日目 12日(火)
ドリームレース・一次予選
- 2日目 13日(水)
オリオン賞・一次予選・二次予選B
- 3日目 14日(木)
シャイニングスター賞・二次予選A・B
- 4日目 15日(金)
準々決勝A・B
- 5日目 16日(土)
準決勝
- 6日目 17日(日)
決勝